

# Bagus

平成31年3月

障害児・者支援



マレーシア教育局

最終号

## ■ 最終報告会

配属先のクダ州教育局、クバン・パス支所、マレーシア教育省、JICA マレーシア事務所など、様々な場所で活動報告を行い JICA ボランティアとしての活動を締めくくりました。



## マレーシアでの活動終了

マレーシアでの JICA ボランティアとしての活動が終了しました。任地クダ州では4つの学校(小学校2校、中・高等学校2校)を巡回して活動し、2つの障がい者通所施設でアクティビティを行いました。任地の生活では暑さと言葉に苦労しましたが、少しずつ体も慣れ、クダの方言も使えるようになりました。マレーシアは多民族国家とされていますが、私の活動先の学校や地域にもマレー系、中華系、インド系、タイ系と様々な民族の方が、異なる生活スタイル、宗教、価値観、文化の中で共存しています。最近では教育の現場でも「多様性」という言葉をよく耳にしますが、この国でより深くそれを考え学ぶことができました。周りの人に頼り支えられながら、自分の弱点や強みとも向き合えた1年9か月、帰国後はマレーシアのさらなる発展を祈ると共に、ボランティア経験を生かして日本の学校教育現場や身近な地域で社会還元していきたいと思ひます。

SMK Darlaman Height での最後の任務として全校生徒に向けたスピーチの機会をいただきました。スピーチを行う日が3月11日の前日ということで東日本大震災の体験談と防災に関する内容を写真を提示しながらお話ししました。当日は校長からのリクエストで浴衣を着て登場したため、生徒からの注目を集め話もよく聞いてもらうことができました。地震や自然災害があまりない地域で育った生徒たちにとって震災の話や写真はとても衝撃的だったと思います。しかし地震に限らず災害はいつでもどこで起こるか分からないので、いざという時に自分の命を守り、助け合い、災害から立ち上がることができるように、この機会に少しでも防災知識をもってもらいたいという気持ちを込めて話をさせていただきました。この学校で活動した6か月間は協力的な先生方、個性豊かでのち美しく生きる生徒たちと共に充実した日々を過ごすことができました。

## ■ マレー語講座



見送る側

スラマ ティンガル  
Selamat tinggal

スラマ ジャラン  
Selamat jalan



見送られる側

( さようなら )

## 成田空港到着

